

平成 28 年度 第 1 回 松戸市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日時	平成 29 年 3 月 27 日（月） 18 時 30 分～20 時 30 分
2. 場所	松戸市役所 新館 7 階 大会議室
3. 出席者	<p><委員>（50 音順）19 名 秋葉委員、天田委員、石田委員、加藤委員、神谷委員、小泉委員、小林委員、小松委員、坂野委員、佐藤委員、竹次委員、富永委員、奈賀委員、西委員、箱田委員、平井委員、文入委員、森田委員、山田委員</p> <p><松戸市> 子ども部長、子ども部参事監、子育て支援課、幼児保育課、子ども家庭相談課、子どもわかもの課、障害福祉課、事務局（子ども政策課）</p>
4. 傍聴者	5 名
5. 次第	<p>1 子ども部長あいさつ</p> <p>2 松戸市子ども・子育て会議 議題 （1）松戸市子ども総合計画の進捗、アンケート調査について （2）利用定員について （3）松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて</p> <p>3 その他</p>

<要旨>

1 子ども部長あいさつ

資料 4：平成 28 年度 子ども部 新規・拡大事業をもとに説明。

2 松戸市子ども・子育て会議

○西会長あいさつ

○坂野副会長あいさつ

○成瀬委員の退任連絡及び後任の小林委員あいさつ

○会議の成立

（事務局）

総委員数 25 名、19 名出席（6 名欠席）。

「松戸市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項」の規定により、会議の成立を報告。

○会議の公開

(事務局)

「松戸市情報公開条例 32 条」の規定により、公開を原則として会議を開催したい。

○議事録の作成と公開

(事務局)

要約による議事録を作成したい。

(西会長)

議事録は事前に委員の了解を得た上で公開することです承する。

○本日の傍聴の受け入れ

(事務局)

5 名の方から傍聴の申し出あり。

(西会長)

入室を許可する。

(1) 松戸市子ども総合計画の進捗、アンケート調査について

(西会長)

議題 1、松戸市子ども総合計画の進捗、アンケート調査について、説明いただきたい。

(事務局)

資料 1-1：松戸市子ども総合計画重点的取組み事項に関する進捗状況、及び資料 1-3：松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査をもとに、担当課及び事務局から説明。

(西会長)

質疑応答をお願いしたい。

(天田委員)

1 点目、子どもが夜間に脱臼した際、夜間小児急病では整形外科の対応困難ということで、大きな病院で受診を断られることがあった。松戸市は小児急病が充実していると思っていたので、この場を借りて報告する。2 点目、市では英語教育に力を入れており、保育所の英語あそびを見学した際は、子どもたちが楽しそうに英語と触れ合っている姿をみて、とても良い施策だと思った。2020 年の小学校の学習指導要領改訂では、英語以外にプログラミング教育が導入されると聞いている。市でプログラミング教育が進んだ場合、教育熱心な保護者へ「松戸市は教育に力を入れている」という良

いアピールになると考え、意見する。3点目、子ども食堂について、手伝いたいと思う人が多いことを肌で感じる。食材調達は、千葉のフードバンクを活用できると聞けるが、結局千葉市までに取りに行かないといけないので、もっといい方法がないのか。また手伝いたいと思う人や利用したいと思う人が気軽に情報が得られるように、掲示板等を活用して、子ども食堂の情報がもっと市民に伝わるよう周知することはできないか。

(西会長)

事務局の方で現時点での説明をお願いしたい。

(子ども部参事監)

プログラミング教育については、新学習指導要領の内容等を踏まえつつ、松戸市でどのようなことを実施するのか、これから検討を進めていくことになる。子ども食堂については、現在、地域の方々の思いにより活動が進んでいる。市が必要以上の支援をすることでそのお気持ちを曲げてしまわないように、地域の方々と対話をしながら進めていきたい。また、市で子ども食堂を実施されている方々が協力して、市内の子ども食堂マップを作成し、色々な場所に配布し始めているので、今後は多くの人々の目に触れるようになるのではないかと思う。

(西会長)

松戸の良さは、民間の方たちの力が市を動かしていく所にある。そのような活動を市がバックアップしていく形が望ましいと個人的に思う。

その他質疑応答をお願いしたい。

(佐藤委員)

保育士確保について、世間では男性保育士を積極的に導入するかどうか話題になっているが、男性保育士の活用について、市ではどのように考えているか。

(幼児保育課長)

まず保育士確保の状況だが、4月1日時点で、全民間保育園において、配置基準に必要な保育士は確保されている状態である。ほとんどの施設で定員以上の受け入れが可能な状態である。しかし、新卒保育士については確保が難しい状況なので、今後も補助金等を活用し、保育士確保に努めていきたい。男性保育士については、公立保育所の正規保育士288人中男性保育士は4名である。子どもに対してダイナミックな遊びができるなど、男性保育士の活躍できる部分も多くあるので、引き続き性別に関係なく保育士を採用していきたい。

(佐藤委員)

現在、認可保育園に子どもを通わせているが、体育教室で、外部の男性講師が、上手に男児の接し、動きのある遊びを展開しているのを見て、保護者として重宝していた。男性保育士の増加が保育の充実にもつながると思うので検討をお願いしたい。

(西会長)

その他質疑応答をお願いしたい。

(富永委員)

1点目、発達障害児の受け入れ支援における民間保育園での障害児受け入れのための保育補助者は、発達障害について専門的知識や資格がある方なのか。2点目、公立保育所への臨床発達心理士の派遣とは、どのような内容か。3点目、子ども家庭相談課では虐待の事例を扱う中で、障害児の虐待等のケースも扱っていると思うが、そのような支援をする際、市では障害児への理解や専門性をどのように担保しているか。

(幼児保育課長)

1点目、民間保育園の保育補助者については、子育て支援員研修等の一定の研修を受けた者で、保育士の配置基準とは別に、周辺業務ができる人を配置している。その上で、保育士の負担を減らし、障害児の見守りをしていく。2点目、公立保育所の臨床発達心理士の派遣について、公立保育所では年々発達障害児が増え続け、保護者対応も複雑になる中で、保育士も、子どもの接し方や保護者対応において臨床発達心理士の知識やアプローチスキルが必要になってきている。民間事業者に委託し臨床発達心理士を保育所に派遣して、子どもや保護者への直接支援や、その支援の在り方を指導してもらおう。保育士の負担を減らし、可能な限り発達障害児の受け入れができるように支援していきたい。

(子ども家庭相談課長)

3点目、発達障害児の虐待について、保護者が子どもの育てにくさを感じていくなかで虐待につながるケースはある。子ども家庭相談課の相談員は、障害に対し必ずしも専門性が高いわけではないため、今年度から2ヶ月に1回程度、市内の児童精神科の先生にアドバイザーとして入ってもらい事例検討を行っている。また個別ケース会議を開催し、児童相談所、障害福祉課、こども発達センター、母子保健担当室から、それぞれの専門性をもちよりながら支援の方向性を考えている。

(西会長)

その他質疑応答をお願いしたい。

(神谷委員)

市内の放課後児童クラブの実態を見ると、狭隘な場所の使用や、トイレをはじめとした施設の老朽化、子どもの人数に対して最低限の面積基準で運営するなどの現状である。施設に関する見直しや点検はしているのか。

(子育て支援課長)

施設確保については、教育委員会の情報をもとに取り組んでいるが、例えば空き教室があっても、学校のプログラム等で使用できないという現状がある。校長、教頭との協議の中で、場合によっては廊下を使用するなど、最低基準を下回らないようにしているが、対応に苦慮している状況である。また小学生の人数は横ばいであるが、放課後児童クラブの利用希望者は毎年度約8%増加しており、さらに利用料金を下げることになれば、より利用が増えることが予想される。保護者の負担にならないよう放課後児童クラブを運営しているが、施設確保は相反する現状となっている。さらに空き家を有効に使うなど、他課や地域と連携しながら、施設整備を進めていきたいと思っているが、予算の都合上、即時対応は困難であることをご理解いただきたい。

(子ども部長)

冷暖房は完備が終了し、今後はトイレの改修を予定している。総合教育会議の中で、余裕教室だけでなく、通常の学級教室も含めて積極的に活用するように市長から教育長をお願いをしている。今後の改善に期待したい。

(神谷委員)

子どもの安心・安全の議論などは、子どもの問題を議論するのであれば、市の縦割り行政の中で議論するのではなく、横断的な議論を可能とする組織改革をお願いしたい。

(西会長)

時間の関係で一旦締め切る。その他意見がある場合は、後日、事務局への提出をお願いしたい。

(2)利用定員について

(西会長)

それでは、議題2「利用定員について」、事務局から説明いただきたい。

(幼児保育課)

資料1-2：松戸市子ども総合計画における量の見込みに対する確保状況（教育・保育の寮の見込み）、資料2-1：特定教育・保育施設の利用定員等について及び資料2-2：地域型保育事業の利用定員等について説明。

(西会長)

質疑応答をお願いしたい。

ご意見・ご質疑等がないので、議題3に進む。

(3)松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて

(西会長)

議題3「松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて」、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料3：松戸市子ども総合計画の中間年の見直しを用いて説明。

(西会長)

質疑応答をお願いしたい。

ご意見・ご質問がないので、松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについては、事務局案のとおり進めていただく。計画の策定から2年間の経ち、今回の見直しは重要と考えている。現状を検証して目標設定を見直し、子ども・子育て会議として、市長へ答申していきたい。

3 その他

○次回の会議の開催

(事務局)

来年度の平成29年7月頃の開催を予定している。詳細は別途ご案内する。

(西会長)

本日の議事は全て終了した。